

11/23 木 旗

介護保険改悪に反対

署名13.8万人分 国会に提出

介護保険
署名
11.22



署名を紹介議員の倉林参院議員（右から3人目）と宮本衆院議員（左から4人目）にわたす参加者たち=22日、衆議院第2議員会館

田綾子さんは「私は怒りますカーボード」の取り組みを紹介しました。

東京都葛飾区の介護施設事務長の小又維鎮さんは入所者の事例を紹介。介護保険の利用料が1割から2割に増えると家計に余裕がなくなり、入所者の家族に介護が必要になつても保険を使えなくなるおそれを指摘しました。

東京医労連の久保達太郎さんは施設で「人体制の夜勤中に亡くなった介護労働者の過酷な実態を告発。「全産業平均より月7万円も低い介護労働者の賃上げと人員不足解消を」と訴えました。

国会議員が署名を受け取らりあいさつしました。日本共産党から倉林明子副委員長・参院議員と宮本徹衆院議員が参加。倉林氏は「軍事費ではなく介護をはじめ社会保障の充実を」と訴えました。

中央社保協・
民医連・全労連

介護保険制度の改悪に反対する13万7638人の署名が22日、国会に提出されました。署名は、中央社会保障推進協議会（中央社保協）、全日本民医連、全労連が取り組み、負担増や給付削減に反対し、介護労働者への賃上げや国民の負担軽減などを要求しています。

この日、署名提出行動が衆議院第2議員会館の会場とユーチュープで全国86カ所をつないで行われました。新日本婦人の会の会員たちは発言。福島県郡山市の吉田仁子さんと神奈川県本部の原眞砂さんは「年金では十分な介護サービスが利用できない」会員たちの怒りを代弁し、相模原市の坂